

## 令和4年度 第3回学校運営協議会 議事録

【開会】令和5年3月16日(木) 17:00~19:00

松江北高校会議室にて委員12名、他3名の参加により開催

【参加者】木原 和典(校長)、小松原喜幸(事務長)、坂本 拓三(PTA会長)、  
泉 雄二郎(双松会副会長)、高須 佳奈(島根県立大学准教授)、  
肥後 功一(島根大学理事兼副学長)、石原 俊治(島根大学医学部副学部長)、  
持田 隆之(医療政策課医師確保対策室室長)、池田 浩(松江一中校長)、  
米山 隆(城北公民館長)、寺津 豪佐(松江市役所職員)、  
古津 弘也(古津法律事務所長) 以上委員12名 ※名簿順  
渡部 一哉(教頭)、伊藤 尚子(教頭:事務局)、石飛 憲(主幹教諭:事務局)  
以上校内関係者3名

### 【次第】 1. 開会行事

2. 協議 (1) 学校評価および年度末反省について  
(2) スクールミッションの承認について  
(3) 令和4年度コンソーシアムの取組について事業報告  
(4) グランドデザインの変更について  
(5) 令和5年度コンソーシアムについて  
(6) 次年度の会の在り方について  
(7) その他

### 3. 閉会行事

#### 【協議内容】(1) 学校評価および年度末反省について

→教頭より資料で説明

##### 【委員より】

##### ○学校評価について

- ・生徒、保護者、教員と同じ質問内容にしてあることで、比較ができ、非常に興味深くみることができた
- ・教員の生徒に対する評価は(期待があるからなのか)厳しめに出るが、一方で、生徒から教員への評価が高いのはよいこと。
- ・学習面に対して、子どもの自己評価が高く、親が低めなのほどこも似たような傾向
- ・数値の低い項目に対しての学校としての対処について
- ・学校評価と(各分掌等からの)年度末反省は関連性についてなど

##### ○年度末評価について

##### 【委員より】

- ・各分掌での課題点や問題点など具体的な事例について  
→校内外の生徒の様子やホームページの在り方、地域で抱える問題を共有
- ・新型コロナウイルスの影響でこれまでの生徒との今年度卒業した生徒の違い(充実感、人間関係、授業への要望など)について
- ・中学校と高校の連携、高校と大学の連携について  
例:自転車のヘルメット、タブレット端末、AI機能の利用 など
- ・成人教育(主権者教育)の明確な位置づけがあるとよい

- (2) スクールミッションの承認 →県教委の最終案の提示を了承

(3) R4 年度のコンソーシアム事業報告 →今年度 12 月以降の変更確認

(4) グランドデザインの変更について

【委員より】

- ・「読む力」「書く力」「伝える力」以外に文理関係なく「数理データサイエンス」の力も必要とされる
- ・「読む力」「書く力」「伝える力」の3つの力をどう評価していくか
- ・「～における有為な人材」を「～で活躍できる資質・能力の育成」などの表現もあり

(5) 部会の在り方について

今年度4つの部会でスタートしたが、総合的な探究の時間の改革とも併せ、3つの部会に整理したい

【委員より】

- ・医療連携の部会がなくなるが、キャリア教育に広く含めてもらうことで、多くの生徒に働きかけることができるようになるのはよい
- ・「課題研究」部会とすると、専門高校の授業「課題研究」と混同する恐れがある。「探究・研究」部会などの名称に変更したほうがよい
- ・総合的な探究の時間の在り方について、生徒の中で深めていくためには「壁」をいつ、どのようにたてるのか、その役割は重要。教員も生徒も思考のツールを変えて行く必要がある。

(6) 次年度の会の在り方について

- ・次年度の役員について承認

(7) その他

R7年度公立高等学校入学者選抜の改訂について